

## 第4回KOZOOMサロン28の開催

司会 太田隆次

本日、予定通り10月28日午前11時～12時15分まで 第4回 KOZOOM  
サロン28が開かれました。

参加者は、ゲストの峯岸隆臣さん、伊藤公博さん、小豆澤愛美子さん、松原和子  
さん、神美代子さん、水谷真次郎さん、清水健二さん、中西卓さん、長谷聖一郎  
さん、野田泰弘さん、野口幹夫さん、山本健太郎さん（招待も担当）、太田隆次  
（司会担当）の13名です。尚、参加予定だった石原靖造さんは所用で、藤本勇  
さんは事故による怪我で残念ながらご参加されませんでした。

今回のテーマは、あらかじめお配りした峯岸さんの、50代にして初めての海外  
駐在の記録書フランスの「ブルターニュ残照 サラリーマン単身フランス駐在  
日誌」を中心に著者との一問一答です。

参加者全員に「私とフランス」を思いきり自由自在に語って頂きました。予定時  
間の1時間15分のフランスアワーは、あっという間に過ぎてしまいました。

ご発言のごく一部ですが、順不同でご紹介します。（一部重複しています）

- ・何しろ50年も前のことですが、私もフランスの各地を旅行しました。モン  
サンミシエルと海岸の美しい景色、オマール貝の美味しさは今でも忘れられ  
ません。
- ・バック旅行でしたがフランス料理、名所旧跡、景色などどれも最高だった。
- ・海岸などでビキニ姿の女性が多いのには戸惑いました。
- ・著書に紹介された風景は私にも蘇ります。出来れば印象に残った景色のスケッ  
チをページの所々に入れて欲しかった。
- ・パリでは、ネクタイ着用を求められ、持っていなければ貸してくれるレストラ  
ンがあった。  
今でもそうですか？
- ・ブルターニュなどの田舎ではそういうことはありませんでした。
- ・フランス人は古くから世界各地に植民地があり、人なつこいといわれますが、  
初めて会う人や非白人系には必ずしもそうではないことに注意しなければい  
けません。
- ・私が駐在中のジスカール・デスタン大統領（任期；1974～1981）は背  
の高い人でしたが、一般的にいうと、フランス人は日本人よりは背の高い人が

多いですが、ヨーロッパの中ではかなり南にあるし、ヨーロッパ人の身長は北の方が高いので、フランス人はヨーロッパ人の中では比較的低いのです。

- 昔、旧制高校の学生歌でよく歌われた「デカンショ節」は、「デカルト」「カント」「ショーペンハウエル」の略であるとよく知られていますが、デカルトは「我考える。故に我あり」で有名なフランスの哲学者で近世哲学の祖と習いました。
- 社会人類学は、歴史、哲学、芸術、文学、科学など多くの分野での人類の進歩のプロセスを研究する学問ですが、国家としてはフランスの貢献が際だっていることに注目したいと思います。

終わりに、ゲストの峯岸隆臣さんと、席亭主役をやってくださった山本健太郎さんに感謝致します。

下の写真は、中西卓さんが記録された本日の参加メンバーです。



上左から 山本・中西・野田・太田 中段左から 小豆澤・峯岸・松原・野口  
下段左から 水谷・伊藤・神・清水（敬称略）